

授業科目 栄養教育論実習

【担当教員名】 斎藤 トシ子		対象学年	2・3	対象学科	健栄
		開講時期	前期（3）・後期（2）	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	90
【概要・一般目標：G10】 1. 栄養アセスメント、情報の分析、問題点の把握、栄養教育プログラム作成までの作業を行い、個人及び小集団への栄養教育プログラム作成に必要な基本的な技術を修得する。2. ライフステージ及びライフスタイルに応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価のために必要な基本的な技術を修得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 栄養アセスメントの技術と収集した情報を整理して問題点を抽出する方法を身につける 2. 小集団の栄養教育プログラムの作成技術、教材作成技術を身につける 3. 小集団への栄養教育の技術を身につける 4. 個別教育の技術を身につける					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション、栄養アセスメントの実施（安静時代謝量測定、食事調査、活動調査等）			1	実習
2	同上			1	実習
3	同上			1	実習
4	同上			1	実習
5	食事調査法の妥当性の検討：解析			1	実習
6	推定エネルギー必要量、栄養必要量、食品摂取量の評価			1	実習
7	個人の問題点の抽出			1	実習
8	集団の問題点の抽出			1	実習
9	集団教育計画案、指導案、教材の作成			2	実習
10	同上			2	実習
11	同上			2	実習
12	同上			2	実習
13	同上			2	実習
14	集団教育計画案、指導案、教材の発表			2	発表
15	同上			2	発表
16	小集団教育・個別教育計画の立案、準備（アセスメント内容の検討⇒情報収集⇒問題点の抽出⇒教育カリキュラム・指導案・教材の作成⇒プレテスト）			3, 4	実習
17	同上			3, 4	実習
18	同上			3, 4	実習
19	同上			3, 4	実習
20	同上			3, 4	実習
21	同上			3, 4	実習
22	同上			3, 4	実習
23	小集団教育の実施（グループごと）			3	実習
24	同上			3	実習
25	個別教育の実施、ケースカンファレンス			4	実習
26	小集団教育の実施（グループごと）			3	実習
27	同上			3	実習
28	個別教育の実施、ケースカンファレンス、評価			4	実習
29	小集団教育実施内容の評価、発表			3	発表
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		アクティブ栄養指導実習	永野君子	医歯薬出版	2008・2, 200円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、実習内容、レポート、その他提出物から総合的に評価		【履修上の留意点】			